

<b>1</b>	<b>Financial Review</b>	<b>03-05</b>
	2025年3月期中間期   業績ポイント	03
	業績推移 / 株主還元ポイント	04
	中間期ハイライト	05
<b>2</b>	<b>MITSUI-SOKO GROUP Strategy</b>	<b>06-08</b>
	中期経営計画2022の進捗について	06
	サステナビリティ経営について	07-08
<b>3</b>	<b>MITSUI-SOKO GROUP Today</b>	<b>09-12</b>
	Topics	09-11
	GROUP-News / IR-News	12
<b>4</b>	<b>Financial Statement</b>	<b>13</b>
	中間連結財務諸表(要約)	
<b>5</b>	<b>Information</b>	<b>14</b>
	株主様アンケート / 持株会社概要	
<b>6</b>	<b>Stock Information</b>	<b>15</b>
	株式の状況 / 株主メモ	

本誌中間決算の詳細は2025年3月期  
第2四半期(中間期)決算短信をご参照ください



<https://www.mitsui-soko.com/ir/library/result/>

Top Message

当社グループと社会の持続可能な発展に向けて  
グループ総合力を高め  
中長期視点に基づく経営を実践していきます

株主・投資家の皆様には、平素より格別のご支援を賜り、厚くお礼申し上げます。

近年、災害の激甚化や地政学リスクなど、世の中の不確実性は高まり、社会環境はめまぐるしく変化しております。物流業界においても、2024年問題や拠点の分散化/ルートの複線化、業界再編を含む構造変化など、外部環境は大きく変化しております。

このような事業環境においても、私たちが変わらずパーパス「社会を止めない。進化をつなぐ。」を体現し続けるためには、中長期的な視点に基づいた経営戦略を実行し、「企業」と「社会」のサステナビリティを両輪で追求していくことが必要です。この度、当社グループでは、2035年に向けて取り組むべき重要課題として「マテリアリティ※(左図)」を改定しました。マテリアリティは、2050年のありたい未来像からのバックキャストや、ビジネスモデルの再定義、独自の強みの深掘りといったプロセスを通じて改定に至っています。

本誌P07~08をご参照ください

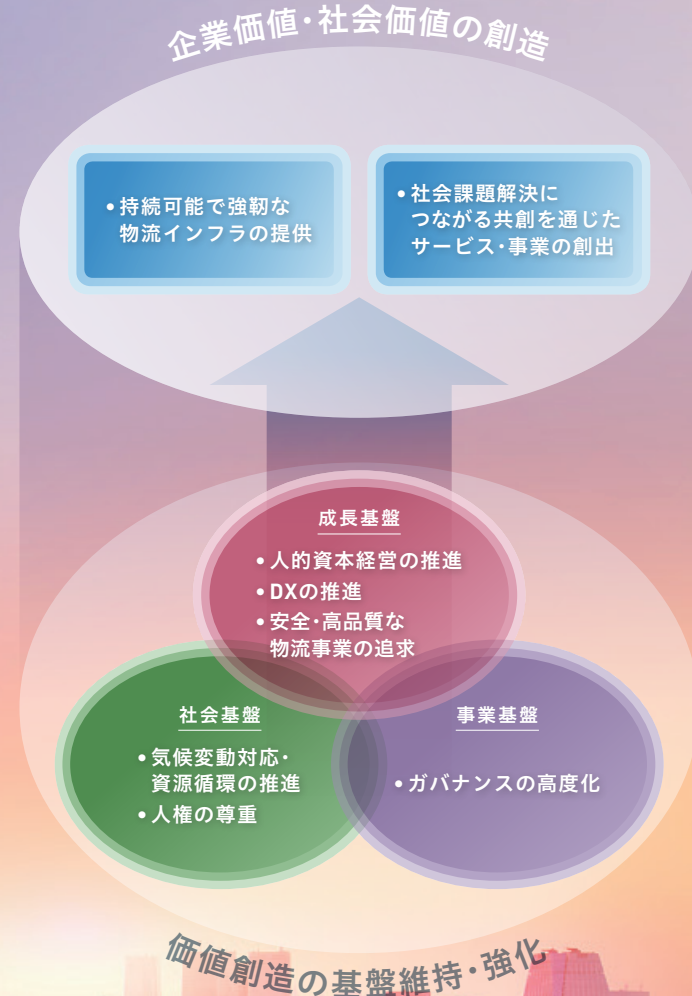
この新たなマテリアリティの下、社会インフラを支え、お客様や世の中の進化をつなぐ存在であり続けるために「中期経営計画2022(2023年3月期~2027年3月期)」をグループ全体で進展させ、持続可能な社会の発展に貢献いたします。

※マテリアリティ:企業が優先して取り組むべき「重要課題」

代表取締役社長  
グループCEO

古賀博文

New Materiality



物流を止めないこと。それは、社会の流れを止めないこと。  
円滑な社会の流れは、人々の、世の中の進化をつなげてゆく。

社会を止めない。  
進化をつなぐ。

Empower society, encourage progress